

ADOBE® EXTENSION MANAGER CS4 ユーザガイド

© 2008 Adobe Systems Incorporated. 無断複写・転載を禁止します。

Adobe® Extension Manager 2.0 for Windows® and Mac OS の使用

本マニュアルがエンドユーザ使用許諾契約を含むソフトウェアと共に提供される場合、本マニュアルおよびその中に記載されているソフトウェアは、エンドユーザ使用許諾契約にもとづいて提供されるものであり、当該エンドユーザ使用許諾契約の契約条件に従ってのみ使用または複製することが可能となるものです。当該エンドユーザ使用許諾契約により許可されている場合を除き、本マニュアルのいかなる部分といえども、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の書面による事前の許可なしに、電子的、機械的、録音、その他いかなる形式・手段であれ、複製、検索システムへの保存、または伝送を行うことはできません。本マニュアルの内容は、エンドユーザ使用許諾契約を含むソフトウェアと共に提供されていない場合であっても、著作権法により保護されていることにご留意ください。

本マニュアルに記載される内容は、あくまでも参照用としてのみ使用されること、また、なんら予告なしに変更されることを条件として、提供されるものであり、従って、当該情報が、アドビ システムズ社による確約として解釈されてはなりません。アドビ システムズ社は、本マニュアルにおけるいかなる誤りまたは不正確な記述に対しても、いかなる義務や責任を負うものではありません。

新しいアートワークを創作するためにテンプレートとして取り込もうとする既存のアートワークまたは画像は、著作権法により保護されている可能性のあるものであることをご留意ください。保護されているアートワークまたは画像を新しいアートワークに許可なく取り込んだ場合、著作権者の権利を侵害することがあります。従って、著作権者から必要なすべての許可を必ず取得してください。

例として使用されている会社名は、実在の会社・組織を示すものではありません。

Adobe, the Adobe logo, Adobe Connect, Contribute, Creative Suite, Dreamweaver, Fireworks, Flash, Illustrator, InDesign, Kuler, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

Windows is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. Mac and Mac OS are trademarks of Apple Inc. registered in the U.S. and other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

This product contains either BSAFE and/or TIPEM software by RSA Security, Inc.

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

Flash video compression and decompression is powered by On2 TrueMotion video technology. © 1992-2005 On2 Technologies, Inc. All Rights Reserved. <http://www.on2.com>.

This product includes software developed by the OpenSymphony Group (<http://www.opensymphony.com/>).

Portions licensed from Nellymoser (www.nellymoser.com).



Sorenson Spark® video compression and decompression technology licensed from Sorenson Media, Inc.

MPEG Layer-3 audio compression technology licensed by Fraunhofer IIS and THOMSON multimedia (<http://www.iis.fhg.de/amm/>).

This product includes software developed by the IronSmith Project (<http://www.ironsmith.org/>).

Notice to U.S. Government End Users: The Software and Documentation are "Commercial Items," as that term is defined at 48 C.F.R. §2.101, consisting of "Commercial Computer Software" and "Commercial Computer Software Documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. §12.212 or 48 C.F.R. §227.7202, as applicable. Consistent with 48 C.F.R. §12.212 or 48 C.F.R. §§227.7202-1 through 227.7202-4, as applicable, the Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation are being licensed to U.S. Government end users (a) only as Commercial Items and (b) with only those rights as are granted to all other end users pursuant to the terms and conditions herein. Unpublished-rights reserved under the copyright laws of the United States. Adobe agrees to comply with all applicable equal opportunity laws including, if appropriate, the provisions of Executive Order 11246, as amended, Section 402 of the Vietnam Era Veterans Readjustment Assistance Act of 1974 (38 USC 4212), and Section 503 of the Rehabilitation Act of 1973, as amended, and the regulations at 41 CFR Parts 60-1 through 60-60, 60-250, and 60-741. The affirmative action clause and regulations contained in the preceding sentence shall be incorporated by reference.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

目次

第 1 章：参考資料

ヘルプとサポート	1
サービス、ダウンロード、その他	1

第 2 章：Extension Manager の使用

拡張機能のダウンロードとインストール	4
拡張機能の管理	5
拡張機能のパッケージ化と送信	7
コマンドラインからの作業	8

索引	12
----------	----

第 1 章：参考資料

ソフトウェアの使用を開始する前に、現在公開されている各種リソースの概要をお読みください。手順を説明したビデオ、プラグイン、テンプレート、ユーザコミュニティ、セミナー、チュートリアル、RSS フィードなどをご利用いただけます。

ヘルプとサポート

コミュニティヘルプ

コミュニティヘルプは、コミュニティで作られるコンテンツにアクセスできるよう adobe.com に開設された統合環境であり、Adobe および業界の専門家によって管理されています。ユーザからのコメントが、答えを見つける際の参考になります。コミュニティヘルプを検索すると、Adobe の製品やテクノロジーに関する非常に良質のコンテンツが見つかります。利用できるリソースとしては次のようなものがあります。

- デザイナーおよびデベロッパー向けのビデオ、チュートリアル、ヒント&テクニック集、ブログ、記事、サンプル。
- 製品ヘルプより詳細で定期的に更新されるオンラインヘルプ。インターネットに接続された環境でヘルプを参照すると、製品に付属のサブセットではなくオンラインの完全版ヘルプが自動的に表示されます。
- サポートデータベースの記事、ダウンロードとアップデート、デベロッパーコネクションなど、その他すべての [Adobe.com](http://adobe.com) コンテンツ。

コミュニティヘルプにアクセスするには、製品のユーザインターフェイスにあるヘルプ検索フィールドを使用します。コミュニティヘルプに関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid4117_xp_jp を参照してください。

その他のリソース

完全なオンラインヘルプの印刷版は、送料および手数料の実費程度で http://www.adobe.com/go/store_jp から購入いただけます。また、最新の完全版ヘルプの PDF 版をダウンロードできるリンクも用意されています。

有料および無料のテクニカルサポートオプションについて詳しくは、アドビ システムズ社のサポート Web サイト (www.adobe.com/jp/support) をご覧ください。

サービス、ダウンロード、その他

製品に様々なサービス、プラグインおよび拡張機能を組み込むことによって製品を強化できます。作業に役立つサンプルやその他のアセットをダウンロードすることもできます。

Adobe クリエイティブオンラインサービス

Adobe® Creative Suite® 4 は、デスクトップに Web のパワーをもたらす新しいオンライン機能を備えています。それらの機能を使用することで、コミュニティへのアクセスやコラボレーションを行い、また、アドビツールをいっそう有効に活用できます。強力なクリエイティブオンラインサービスでは、カラーマッチングからデータ会議まで幅広いタスクを実行できます。このサービスはデスクトップアプリケーションとシームレスに統合されているため、既存のワークフローを迅速に強化できます。一部のサービスについては、オフライン時にも機能のすべてまたは一部を利用できます。

提供サービスについて詳しくは、Adobe.com をご覧ください。一部の Creative Suite 4 アプリケーションでは、次のサービスを最初から利用いただけます。

Kuler™ パネル カラーテーマをオンラインですばやく作成、共有および検索できます。

Adobe® ConnectNow 離れた場所にいる作業チームが、音声、データおよびマルチメディアを共有しながら共同で作業することができます。

Resource Central Adobe デジタルビデオアプリケーションのチュートリアル、サンプルファイルおよび拡張機能にすばやくアクセスできます。

ご利用サービスの管理について詳しくは、アドビ システムズ社の Web サイト (www.adobe.com/go/learn_creativeservices_jp) を参照してください。

Adobe Exchange

サンプルおよびアドビ システムズ社やサードパーティの開発者によるプラグインおよび拡張機能は、www.adobe.com/go/exchange_jp の Adobe Exchange からダウンロードできます。プラグインや拡張機能を使用すると、作業の自動化、ワークフローのカスタマイズ、プロ級の効果の作成などを行うことができます。

Adobe ダウンロード

無料のアップデート、体験版、その他の便利なソフトウェアは、www.adobe.com/go/downloads_jp でダウンロードできます。

Adobe Labs

Adobe Labs (www.adobe.com/go/labs) では、アドビの新しい技術、テクノロジー、および製品を体験し評価することができます。Adobe Labs では次のようなリソースにアクセスできます (英語のみ)。

- リリース前のソフトウェアおよびテクノロジー
- 学習に役立つコードサンプルとベストプラクティス
- 製品および技術に関するドキュメントの旧バージョン
- 同様の目的を持つユーザーとの交流に役立つ、フォーラムや wiki ベースのコンテンツその他の共同リソース

Adobe Labs は共同して作業するソフトウェア開発プロセスを促進させます。この環境を利用することで、お客様は新しい製品やテクノロジーに関する生産性を向上させることができます。また、Adobe Labs は早期フィードバックを受け付けるためのフォーラムでもあります。フィードバックは、Adobe 開発チームがお客様のニーズを取り入れ、コミュニティのご期待に応えるための参考にさせていただきます。

Adobe TV

Adobe TV (http://www.adobe.com/go/adobetv_jp) では、操作手順やヒントについてのビデオを提供しています。

その他

インストールディスクには、アドビソフトウェアを最大限に活用するための様々な追加機能が含まれています。一部の追加機能はセットアップ時にコンピュータにインストールされ、残りはディスクに保管されています。

セットアップ時にインストールされる追加機能を表示するには、コンピュータ上のアプリケーションフォルダに移動します。

- Windows® : [起動ディスク]¥Program Files¥Adobe¥[**Adobe** アプリケーション]
- Mac OS® : [起動ディスク]/ アプリケーション /[**Adobe** アプリケーション]

ディスク上の追加機能を表示するには、ディスク上の使用する言語のフォルダ内にあるその他フォルダに移動します。次に例を示します。

- ¥日本語¥その他¥

第 2 章：Extension Manager の使用

Adobe® Extension Manager では、一連の Adobe® Creative Suite® アプリケーションに拡張機能をインストールして管理できます。また、Extension Manager を使用して、Adobe Exchange の Web サイトに独自の拡張機能を送信することもできます。

拡張機能のダウンロードとインストール

拡張機能とは小規模なソフトウェアであり、これを Adobe アプリケーションに追加することで、そのアプリケーションの機能を拡張できます。拡張機能を追加できるのは、Dreamweaver®、Flash®、Fireworks®、Photoshop®、InDesign®、Illustrator®、Contribute® および Adobe Bridge です。

Extension Manager について

Extension Manager を使用すると、各種 Adobe アプリケーションの拡張機能のインストールや削除、インストールされている拡張機能の情報検索を簡単に行うことができます。また、ここから Adobe Exchange サイトに簡単にアクセスできます。このサイトでは、他の拡張機能を探したり、拡張機能に関する情報を参照したり、使用した拡張機能を評価したりできます。

Extension Manager は、Adobe アプリケーションをインストールすると自動的にインストールされます。

注意：Extension Manager では、Extension Manager アプリケーションでインストールされた拡張機能、またはコマンドラインから Extension Manager の各コマンドでインストールされた拡張機能のみが表示されます。サードパーティ製のインストーラを使用してインストールした拡張機能、またはローカルで設定ファイルを変更した拡張機能は、Extension Manager には表示されません。

Adobe Exchange Web サイト (www.adobe.com/go/exchange_jp) には、豊富な拡張機能が用意されています。このサイトに公開されている拡張機能には、Adobe で作成したものと、他のデベロッパにより作成されたものがあります。使用したい拡張機能が見つかったら、その拡張機能が無償の場合は Extension Manager を使用してダウンロードし、アプリケーションにインストールできます。一部の拡張機能は有償なので、すぐにはダウンロードできない場合があります。ダウンロードリンクをクリックして作者の Web サイトにアクセスすれば、購入に関する情報を確認できます。

拡張機能のダウンロード

1 Adobe Exchange にアクセスするには、Extension Manager でファイル / Adobe Exchange へを選択するか、Web ブラウザで www.adobe.com/go/exchange_jp と入力します。

Adobe Exchange は、豊富な拡張機能を最も多く網羅したサイトです。このサイトで、最も評価の高い拡張機能、最もよくダウンロードされている拡張機能、注目されている拡張機能を表示できます。

2 拡張機能を 1 つ選択するとダウンロードが開始されます。

3 使用しているコンピュータのハードディスクに拡張機能を保存して、その保存場所をメモします。

拡張機能のインストール

Extension Manager CS4 を使用すると、対応する CS4 アプリケーションに拡張機能をインストールできます。ただし、Extension Manager CS4 を使用して旧バージョンのアプリケーションに拡張機能をインストールすることはできません。旧バージョンの Dreamweaver、Flash または Fireworks に拡張機能をインストールするには、その製品と一緒にインストールされた Extension Manager を使用します。

1 Microsoft Windows® エクスプローラ (Windows) または Finder (Macintosh®) で、拡張機能ファイルをダブルクリックします。

2 Adobe 拡張機能の免責事項およびサードパーティ製拡張機能のライセンスを確認します。

「承諾」を選択すると、インストールを続行します。「承諾しない」を選択すると、インストールをキャンセルします。

3 別のバージョンの拡張機能または同じ名前を持つ別の拡張機能がインストールされている場合、無効にするか上書きするかを確認するメッセージが表示されます。

「はい」を選択すると、既存の拡張機能は新しい拡張機能で上書きされます。「いいえ」を選択すると、インストールがキャンセルされ、既存の拡張機能がそのまま残ります。

4 既存のファイルを置き換えるかどうかを確認するメッセージが表示された場合、拡張機能に含まれるバージョンを受け入れるには、「はい」または「すべてはい」を選択します。現在のバージョンのファイルを保持する場合は、「いいえ」を選択します。

「キャンセル」をクリックすると、インストール処理が停止し、ファイルのインストールまたは置き換えは行われません。

インストールの実行中に問題が発生しなければ、インストールを正常に完了したことを示すメッセージが表示されます。

注意：一部の拡張機能では、アプリケーションを閉じて再起動した場合にのみ変更が有効になります。

拡張機能によって `menus.xml` などの設定ファイルが変更される場合、Extension Manager は、拡張機能をインストールする前に、影響を受ける設定ファイルのバックアップ (例えば、`menus.xbk`) を作成します。拡張機能によって設定ファイルが壊れた場合は、バックアップファイルで復旧できます。

重要：設定ファイルは手動で変更しないことを推奨します。誤った変更を行うと、製品の重要な部分に支障が生じ、他の拡張機能のインストールが妨げられることがあります。設定ファイルは、Extension Manager でのみ変更してください。

関連項目

8 ページの「[コマンドラインからの作業](#)」

拡張機能の管理

Extension Manager を初めて起動したときに、インストールされている旧拡張機能を移行するかどうかを選択できます。「はい」を選択すると、互換性のある拡張機能がすべて移行され、アプリケーションの再起動を要求するメッセージが表示されます。再起動したら、Extension Manager でその拡張機能の横にある「有効」チェックボックスをクリックすると、移行した拡張機能を有効にできます。

Extension Manager CS4 を使用すると、Dreamweaver CS4、Flash CS4、Fireworks CS4、Photoshop CS4、InDesign CS4、Illustrator CS4、Contribute CS4 および Bridge CS4 用に開発された拡張機能を管理できます。ただし、旧バージョンの製品で拡張機能を管理するために Extension Manager CS4 を使用することはできません。旧バージョンの Dreamweaver、Flash または Fireworks で拡張機能を管理するには、その製品と一緒にインストールした Extension Manager を使用します。

Extension Manager の起動

- ❖ Extension Manager は、スタートメニュー（Windows）またはアプリケーションフォルダ（Macintosh）から起動します。

ヘルプ／拡張機能の管理を選択すると、Dreamweaver、Flash または Fireworks から Extension Manager を起動することもできます。

インストール済み拡張機能をソートする

- ❖ Extension Manager で、「有効」、「バージョン」、「作成者」などの列ヘッダをクリックします。

例えば、作成者名をアルファベット順でソートするには、「作成者」の列ヘッダをクリックします。ソートの順序を逆にするには、列ヘッダを再度クリックします。

インストール済み拡張機能の有効 / 無効を切り替える

- ❖ Extension Manager で、有効または無効にする拡張機能の横にある「有効」チェックボックスを選択します。

インストールした拡張機能の数が多い場合、それぞれを選択して有効または無効に設定すれば、アプリケーションのパフォーマンスを管理できます。

拡張機能の削除

拡張機能を削除すると、アプリケーションからアンインストールされます。

- 1 Extension Manager で、左側のサイドバーにあるインストール済みプログラムのリストから Adobe アプリケーションを選択します。

現在インストールされている拡張機能のリストが表示されます。

- 2 インストールされている拡張機能のリストから、目的の拡張機能を選択します。

このリストに目的の拡張機能が表示されない場合は、その拡張機能を削除することはできません。

- 3 「削除」アイコンをクリックします。確認のダイアログボックスで「はい」を選択します。

注意： Disabled フォルダから手動で拡張機能を削除しないでください。手動で削除すると、設定ファイルに対する必要な変更が行われなくなります。

拡張機能に関する情報の取得

- ❖ Extension Manager でリストされている拡張機能を選択すると、ウィンドウの下半分に情報が表示されます。

Adobe Exchange へ

Adobe Exchange では、特定の拡張機能に関する詳細な情報の取得、使用した拡張機能の評価、さらに多くの拡張機能の検索を行うことができます。

- ❖ Extension Manager で、ファイル／Macromedia Exchange へを選択します。

Exchange Manager は、ブラウザを起動して Adobe Exchange の Web サイトをロードします。このサイトでは、公開されている拡張機能の情報を参照したり、使用した拡張機能の評価できるほか、豊富な拡張機能の中から拡張機能を検索したり、ダウンロードしたりできます。

拡張機能のパッケージ化と送信

新しく作成した拡張機能を Adobe Exchange の Web サイトで配布するために Adobe に送信する前に、Adobe Extension Manager を使用してパッケージ化することができます。拡張機能をパッケージ化した後は、Extension Manager を使用してローカルにインストールし、テストします。Adobe Exchange の Web サイト (www.adobe.com/go/exchange_jp) には、拡張機能の作成とテストに関するガイドラインが用意されています。拡張機能の設定およびテスト方法について詳しくは、Adobe Exchange サイトのヘルプで「How do I ensure that my extension will pass Adobe testing?」の節を参照してください。拡張機能を作成してテストした後は、拡張機能をパッケージ化し、送信することができます。

拡張機能の作成については、『Dreamweaver 拡張ガイド』、『Flash の拡張機能』および『Extending Fireworks』で詳細を確認できます。

拡張機能のパッケージ化

1 拡張機能を綿密にテストします。

拡張機能の設定およびテスト方法について詳しくは、Adobe Exchange サイトのヘルプで「How do I ensure that my extension will pass testing?」の節を参照してください。

2 必要に応じて、Extension Manager で拡張機能の横に表示するアイコンを作成します。アイコンは、24 x 24 ピクセルの PNG または GIF で作成してください。

独自のアイコンを作成しない場合、デフォルトのアイコンが使用されます。

3 パッケージ化しやすくするために、拡張機能のすべてのファイルを準備用のフォルダにコピーします。

すべてのファイルが、フォルダ階層の同じレベルにある必要はありません。拡張機能インストールファイル (MXI ファイル — 次の手順を参照) で <file> タグを使用して、インストールファイルを基準にした各ファイルの相対パスを指定します。しかし、設定フォルダ内のインストール済みの場所から直接パッケージ化しないときは、すべてのファイルをまとめて管理する方が簡単です。

4 拡張機能のインストールファイル (ファイル拡張子は .mxi) を作成します。

MXI ファイルは、拡張機能名、拡張機能の説明、バージョン番号、種類など、拡張機能の属性を指定する XML ファイルです。MXI ファイルには、使用するカスタムアイコンなど、拡張機能に含まれる各ファイルも指定されています。拡張機能の説明を指定するには、テキストを記載した HTML を使用することも、ローカル HTML ファイルへのリンクを使用することもできます。インターネットに接続できる場合は、リモート HTML ページへのリンクを設定することも可能です。詳しくは、Adobe の Web サイト (www.adobe.com/go/em_file_format_jp) からダウンロードできる『The Adobe Extension Installation File Format』を参照してください。

Extension Manager のアプリケーションフォルダである Samples/Dreamweaver、Samples/Flash、Samples/Fireworks の各フォルダには、Dreamweaver、Flash および Fireworks 用のサンプル MXI ファイルが複数存在します。

5 Extension Manager でファイル/拡張機能の作成を選択します。

6 表示されたファイル選択ダイアログボックスで、MXI ファイルを検索して選択し、「開く」をクリックします。

7 パッケージファイルの保存場所を選択し、ファイル名を付けて (拡張子は .mxi)、「保存」をクリックします。

注意: 拡張機能のパッケージファイル名には、スペースを使用できません。また、Windows プラットフォームと Macintosh プラットフォームの両方で有効となるファイル名にする必要があります。

Extension Manager により、パッケージファイルが作成されます。このファイルには、MXI ファイルを含む、拡張機能のすべてのファイルが圧縮形式で収められます。

8 拡張機能をインストールしてテストし、正常に動作することを確認します。

拡張機能の送信

1 Extension Manager でファイル/拡張機能の送信を選択します。

Adobe Exchange の送信ページがブラウザに表示されます。

2 ページの指示に従い、確認メッセージが表示されるまで操作を続けます。

コマンドラインからの作業

コマンドラインを使用すると、Extension Manager ワークスペースで通常行う各種の操作を実行できます。

Extension Manager のコマンドラインの基礎

特定の構文、コマンドおよび属性を使用することで、コマンドラインから拡張機能を管理できます。

1 Windows では、スタート/すべてのプログラム/アクセサリ/コマンドプロンプトを選択してコマンドプロンプトを開きます。Macintosh では、アプリケーション/ユーティリティフォルダの「ターミナル」アイコンをダブルクリックしてターミナルを開きます。

2 Windows では、以下のフォルダに移動します。

- C:\Program Files\Adobe\Adobe Extension Manager CS4\

3 コマンドラインで、以下のように（二重引用符も付けて）実行可能ファイルを入力します。

- Windows の場合："Adobe Extension Manager CS4.exe"
- Macintosh の場合："/Applications/Adobe Extension Manager CS4/Adobe Extension Manager CS4.app/Contents/MacOS/Adobe Extension Manager CS4"

4 実行可能ファイルの後に、目的のコマンドを入力します。

指定可能なコマンドは以下のとおりです。

-package 拡張機能をパッケージ化します。必要な属性：mxi、mxp

-install 拡張機能をインストールします。必要な属性：mxp

-remove 拡張機能を削除します。必要な属性：product、extension

-enable 拡張機能を有効にします。必要な属性：product、extension

-disable 拡張機能を無効にします。必要な属性：product、extension

-locate Extension Manager のワークスペースに単体製品を配置します。必要な属性：product

-suppress インストール時にライセンスダイアログボックスおよびインストール成功の確認メッセージを表示しないようにします。install コマンドの前に置く必要があります。属性：なし

-locale インストール時のロケールを指定します。install コマンドの前に置く必要があります。必要な属性：lang

-EMBT BridgeTalk を介してコマンドを実行します。他のどのコマンドとも併用できます。コマンドの前に置く必要があります。属性：なし

指定可能な属性は以下のとおりです。

mxi 拡張機能インストールファイルの名前と保存先を指定します。

mxp パッケージファイルの名前と保存先を指定します。

product 拡張機能を使用する製品を指定します。

extension 拡張機能の名前（MXI ファイルで指定されている名前）を指定します。

lang ロケール言語コード (en_US など) を指定します。

コマンドラインによる拡張機能のパッケージ化

- 1 Extension Manager のアプリケーションフォルダに移動します。詳しくは、前述のコマンドラインの基礎に関するトピックを参照してください。
- 2 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
 - Windows の場合：`"Adobe Extension Manager CS4.exe" -package mxi="c:\myfile.mxi" mxp="c:\myfile.mxp"`
 - Macintosh の場合：`"/Applications/Adobe Extension Manager CS4/Adobe Extension Manager CS4.app/Contents/MacOS/Adobe Extension Manager CS4" -package mxi="/myfolder/mysubfolder/myfile.mxi" mxp="/myfolder/mysubfolder/myfile.mxp"`
- 3 BridgeTalk を介して拡張機能をパッケージ化する場合は、以下のように package コマンドの前に EMBT コマンドを付けます。
 - Windows の場合：`"Adobe Extension Manager CS4.exe" -EMBT -package mxi="c:\myfile.mxi" mxp="c:\myfile.mxp"`
 - Mac の場合：`"/Applications/Adobe Extension Manager CS4/Adobe Extension Manager CS4.app/Contents/MacOS/Adobe Extension Manager CS4" -EMBT -package mxi="/myfolder/mysubfolder/myfile.mxi" mxp="/myfolder/mysubfolder/myfile.mxp"`
- 4 拡張機能をインストールしてテストし、正常に動作することを確認します。

コマンドラインによる拡張機能のインストール

- 1 Extension Manager のアプリケーションフォルダに移動します。詳しくは、コマンドラインの基礎のトピックを参照してください。
- 2 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
 - Windows の場合：`"Adobe Extension Manager CS4.exe" -install mxp="c:\myfile.mxp"`
 - Macintosh の場合：`"/Applications/Adobe Extension Manager CS4/Adobe Extension Manager CS4.app/Contents/MacOS/Adobe Extension Manager CS4" -install mxp="/myfolder/mysubfolder/myfile.mxp"`
- 3 BridgeTalk を介して拡張機能をインストールするには、以下のように install コマンドの前に EMBT コマンドを付けます。
... `-EMBT -install mxp="c:\myfile.mxp"`
- 4 ライセンスダイアログボックスと成功の確認メッセージを表示しないようにするには、以下のように install コマンドの前に suppress コマンドを付けます。
... `-suppress -install mxp="c:\myfile.mxp"`
- 5 BridgeTalk を介し、インストールダイアログボックスを表示しないようにするには、以下のように suppress コマンドの前に EMBT コマンドを付けます。
... `-EMBT -suppress -install mxp="c:\myfile.mxp"`
- 6 ロケールを指定するには、以下のように install コマンドの前に locale コマンドを付け、lang 属性を指定します。
... `-locale lang="en_US" -install mxp="c:\myfile.mxp"`
- 7 BridgeTalk を介してロケールを指定するには、以下のように locale コマンドの前に EMBT コマンドを付けます。
... `-EMBT -locale lang="en_US" -install mxp="c:\myfile.mxp"`
- 8 拡張機能をテストし、正常に動作することを確認します。

コマンドラインによる拡張機能の削除

1 Extension Manager のアプリケーションフォルダに移動します。詳しくは、コマンドラインの基礎のトピックを参照してください。

2 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。

- Windows の場合：`"Adobe Extension Manager CS4.exe" -remove product="Dreamweaver CS4" extension="Sample"`
- Macintosh の場合：`"/Applications/Adobe Extension Manager CS4/Adobe Extension Manager CS4.app/Contents/MacOS/Adobe Extension Manager CS4" -remove product="Dreamweaver CS4" extension="Sample"`

product 属性で、拡張機能を使用する製品を指定します。extension 属性で、拡張機能の名前を指定します。

3 BridgeTalk を介して拡張機能を削除するには、以下のように remove コマンドの前に EMBT コマンドを付けます。

... -EMBT -remove product="Dreamweaver CS4" extension="Sample"

コマンドラインによる拡張機能の有効化

1 Extension Manager のアプリケーションフォルダに移動します。詳しくは、コマンドラインの基礎のトピックを参照してください。

2 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。

- Windows の場合：`"Adobe Extension Manager CS4.exe" -enable product="Dreamweaver CS4" extension="Sample"`
- Macintosh の場合：`"/Applications/Adobe Extension Manager CS4/Adobe Extension Manager CS4.app/Contents/MacOS/Adobe Extension Manager CS4" -enable product="Dreamweaver CS4" extension="Sample"`

product 属性で、拡張機能を使用する製品を指定します。extension 属性で、拡張機能の名前を指定します。

3 BridgeTalk を介して拡張機能を有効にするには、以下のように enable コマンドの前に EMBT コマンドを付けます。

... -EMBT -enable product="Dreamweaver CS4" extension="Sample"

コマンドラインによる拡張機能の無効化

1 Extension Manager のアプリケーションフォルダに移動します。詳しくは、コマンドラインの基礎のトピックを参照してください。

2 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。

- Windows の場合：`"Adobe Extension Manager CS4.exe" -disable product="Dreamweaver CS4" extension="Sample"`
- Macintosh の場合：`"/Applications/Adobe Extension Manager CS4/Adobe Extension Manager CS4.app/Contents/MacOS/Adobe Extension Manager CS4" -disable product="Dreamweaver CS4" extension="Sample"`

product 属性で、無効にする拡張機能を使用している製品を指定します。extension 属性で、拡張機能の名前を指定します。

3 BridgeTalk を介して拡張機能を無効にするには、以下のように disable コマンドの前に EMBT コマンドを付けます。

... -EMBT -disable product="Dreamweaver CS4" extension="Sample"

Extension Manager ワークスペースへの単体製品の配置

1 Extension Manager のアプリケーションフォルダに移動します。詳しくは、コマンドラインの基礎のトピックを参照してください。

2 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。

- Windows の場合 : "Adobe Extension Manager CS4.exe" -locate product="Dreamweaver CS4"
- Macintosh の場合 : "/Applications/Adobe Extension Manager CS4/Adobe Extension Manager CS4.app/Contents/MacOS/Adobe Extension Manager CS4" -locate product="Dreamweaver CS4"

product 属性で、配置する製品を指定します。

3 BridgeTalk を介して単体製品を配置するには、以下のように locate コマンドの前に EMBT コマンドを付けます。

... -EMBT -locate product="Dreamweaver CS4"

索引

A

Adobe Exchange 2
Adobe Exchange Web サイト 4

E

Exchange 2
Extension Manager 4

M

MXI ファイル 7
MXP ファイル 7

あ

アップデート 2

い

インストール、拡張機能 5
インストールファイル 7

お

オンラインリソース 2

か

拡張機能
インストール 5
インストールファイル 7
管理 5
削除 6
詳細情報の取得 6
情報の取得 6
説明 4
ソート 6
送信 7
パッケージ化 7
パッケージファイル 7
評価 6
表示 4
保存 4
有効化と無効化 6
管理、拡張機能 5

こ

コマンドライン 8
コミュニティサーチエンジン 1
コミュニティヘルプ 1

さ

削除、拡張機能 6

せ

設定ファイル
バックアップ 5
変更 5

そ

ソート、拡張機能 6
送信、拡張機能 7
その他 2
ソフトウェア
ダウンロード 2

た

体験版 2
ダウンロード
アップデート、プラグイン、体験版 2

は

バックアップファイル 5
パッケージ化、拡張機能 7
パッケージファイル 7

ひ

評価、拡張機能 6
表示、拡張機能 4

ふ

プラグイン
アドビストア 2

へ

変更、設定ファイル 5

ほ

保存、ダウンロードした拡張機能 4

む

無効化、拡張機能 6